

令和5年度 戸部本町地域ケアプラザPDCAシート\_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

総括表

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

・地域住民が高齢となり、介護保険のサービス利用には至らないものの生活に支障が出たり、地域の活動への参加が難しくなる場合が多く見受けられます。認知症への理解や高齢者の見守り・役割の持てる活動を地域住民・地域支援者・専門職と共有し、課題解決に向けて協働で取り組みます。  
 ・地域との繋がりを望まない高齢者も少なくありません。高齢になっても出来るだけ自立した生活がおくれるよう、介護予防を含めた健康づくりを支援すると共に、地域活動、通いの場 への参加がつながりのきっかけとなるよう努めます。  
 ・新築マンションの増加や生活の利便性に伴い、子育て世代や単身高齢者の転入が増えています。誰もが住みやすい地域づくりを目標に、地域団体、関係機関、企業等と連携を図り、既存の地域活動の支援や新たな活動の創設を目指します。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症サポーター養成講座の開催を通じて、認知症になっても住みやすいまち作りに取り組む。地域の中での開催を自治会や町内会、地域の活動団体に向けて発信していく。エリア内のキャラバンメイト連絡会も継続開催していく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自立支援に資するケアマネジメントを実践できるように、自立支援型地域ケア会議を行う。 主マネ連絡会でのスーパーバイズ研修の後方支援を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ケアプラザ自主事業や地域のインフォーマル情報のリストを更新し、適宜ケアマネジャーに発信する。個別カンファやケアマネ会議等での情報提供も行う。多様な社会資源の選択が可能となるよう支援する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ICTの活用等あらゆる媒体を活用し様々な世代へ向けた発信し情報提供に努める。子育て支援、介護予防、交流を目的とした事業を開催し、つながり作りに取り組む。地域団体がケアプラザ及び福祉施設で活動し、福祉活動を積極的にするよう情報提供、場の提供を行い、福祉・保健活動への発展を目指す。ボランティア講座を定期的に開催し、よこはまシニアボランティアの普及に努め、新規ボランティアの獲得に努める。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域活動の継続・活性化に向け、住民主体の地域づくりを目指す。 住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、各地区や町内会・自治会での取り組み、シニアクラブ、地域支援者との連携に努めるとともに、地域ケア会議、協議体等で抽出した課題に対し、関係機関と必要な社会資源の取り組みを行う。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

地域の取り組みや地域住民の活動が再開され、住民主体の地域活動の円滑な運営や活動を後方支援しました。高齢者の孤立防止・介護予防・ボランティア講座等の人材育成・子育て支援を目的とした事業を実施し繋がりに努めました。地域ケア会議を通して元気なうちから繋がる手立てとして「お元気あんしん手帳」を作り、地域の支援者との相互の連携を高めることが出来ました。また、日頃からの地域支援者との顔の見える関係づくりを推進するとともに、様々な世代に必要な情報が行き届くよう新しい情報発信方法を取り入れました。  
 今後も、第4期地域福祉保健計画、地区別計画の推進に向けて、地域の皆様、関係機関と連携し協働で取り組んで参ります。

区からのコメント

(全事業共通事業)  
 ○コロナ禍を経た各地域活動の状況を正確に把握し、再開に向けたアプローチを丁寧に進めました。担い手の方の主体性を大事にしながら後方支援をして頂いたことで、地域活動の円滑な運営や活動につながったと考えます。「にこまちプラン地区別計画」については、複数地区を担当している中できめ細やかに地域支援を行うなど、中心的な役割を果たしていますので、引き続き、地域ケアプラザ・区社会福祉協議会、区役所等と連携を充実させながら、推進していくことを期待します。  
 ○地域アセスメントにおいては、引き続き職種・組織を越えた連携により、個別課題を地域課題として捉える機会として継続し、住民主体の地域づくりにつなげられることを期待します。  
 ○地域住民と協働しながら集合住宅エリアにおける通いの場の形成と、それにより福祉情報の発信を積極的に行いました。また、様々な世代に情報が行き届くようSNSを活用した発信方法を取り入れるなど新たな取組も行っています。

(地域包括支援センター事業)  
 ○認知症、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント等様々な分野で、エリアのニーズに合わせた講座や相談会を開催いただきました。特に認知症の取組としては、MCI(軽度認知障害)の講演会を企画されるなど、区内でも先進的な取組を行っていただきました。  
 ○また、地域ケア会議での丁寧な意見交換をもとに、地域とのつながりのきっかけづくりとなる、「お元気あんしん手帳」をツールとした取組が開始できたことは本当に素晴らしいと思います。今後も、地域住民、関係機関との連携・協働による見守りやつながりづくり等、地域づくりが一層推進していくことを期待しています。